

株式会社野村総合研究所による当社株券等の公開買付け開始

当社は、株式会社野村総合研究所による当社株券等の公開買付けに賛同意見を表明しました。
本公開買付けが成立しますと、その後の一連の手続きにより、当社株式は上場廃止となる見込みです。

公開買付けの概要

公開買付者 株式会社野村総合研究所
 公開買付期間 2020年4月30日(木)から2020年6月15日(月)の15時30分までの予定
 買付け価格 普通株式 1株につき920円
 応募受付場所 野村證券株式会社

スケジュール (予定)

2020年4月30日～6月15日	6月16日	6月22日
公開買付期間	本公開買付けの結果公表	決済開始

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 66,240,000株
 発行済株式総数 25,657,400株
 株主数 3,338名

2021年度3月期の配当および株主優待制度について

当社は、株式会社野村総合研究所による当社の普通株式及び新株予約権に対する公開買付けが成立することを条件に、2021年3月期の配当を行わないこと、および、2021年3月期より株主優待制度を廃止することを決定しております。

会社概要

(2020年3月31日現在)

社名 株式会社だいこう証券ビジネス
 英文社名 DSB Co., Ltd.
 設立 1957年5月
 資本金 89億32百万円
 本社所在地 〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目9番15号
 電話 (03) 5665-3040 (代表)
 事業所 本社 大阪本部
 子会社 株式会社DSB情報システム
 株式会社DSBソーシング
 株式会社DSBソリューションサービス

株式会社だいこう証券ビジネス

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目9番15号
 電話 (03) 5665-3040 (代表)

<https://www.daiko-sb.co.jp/>



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 証券コード 8692
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告により行います。
<https://www.daiko-sb.co.jp/>
 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 受付時間: 9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く)
 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

第64期 年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社だいこう証券ビジネス

証券コード: 8692

クオリティ・ソーシング



代表取締役会長

御園生 悦夫



代表取締役社長

山口 英一郎

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第64期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況について、ご報告申し上げます。

本年度、当社グループは、「証券業の共同インフラ会社」構想をより一層具体化することを目的とした五カ年計画「DCT2022」(2018年度～2022年度)の2期目として、証券会社から銀行・新興系金融企業までの幅広い金融分野のお客様に対し、それぞれの業態ごとに標準的なプラットフォームを構築し、お客様のニーズや業態に合わせて最適なソリューションを提供するための諸施策に取り組み、目標としていた営業収益200億円を達成するなど、収益利益の面でも一定の成果を上げることができました。

また、2020年4月30日より株式会社野村総合研究所(NRI)による当社普通株式等に対する公開買付けが実施

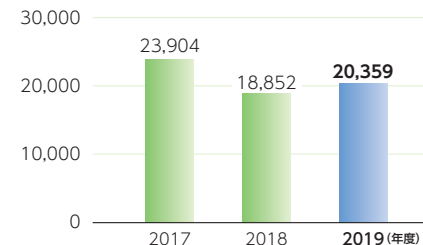
されております。当社グループのBPOサービスとNRIグループのITソリューションサービスの一体化を推進していくことで、より付加価値の高いサービス提供を実現するとともに、お客様の経営課題であるビジネスモデルの変革を支援し、ひいては「証券業の共同インフラ会社」構想の具体化に一層近づくものと考え、当社は公開買付けに関する賛同意見を表明しております。本公開買付けが成立しますと、その後の一連の手続きにより、当社株式は上場廃止となる見込みです。

株主の皆様のこれまでのご支援に深く感謝いたしますとともに、当社グループの今後の展開にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

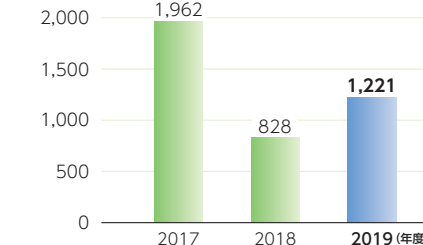
■営業収益

(単位:百万円)



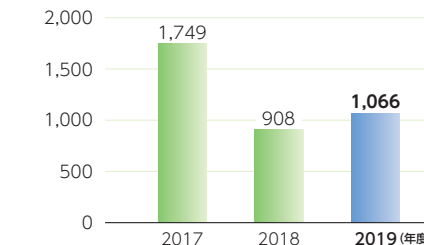
■営業利益

(単位:百万円)



■当期純利益

(単位:百万円)



社長就任のごあいさつ



五カ年計画『DCT2022』の達成に向けて
DSBグループ全力を挙げて
取り組んでまいります。

代表取締役社長 山口 英一郎

このたび、2020年4月1日付で代表取締役社長に就任しました山口英一郎でございます。

2018年度に策定されました当社グループの五カ年計画『DCT2022』(DCT = DSB Group Corporate Target)において、会長の御園生からバトンを引き継ぎ、「証券業の共同インフラ会社」構想を一層のスピード感を持って進めてまいります。

三段跳びの「ホップ・ステップ・ジャンプ」の位置づけに例えると、この二年間は「ホップ」の期間であり、共同インフラ会社として環境を整備する助走段階でした。そして、道筋が整った三年目は、大きく跳ぶ前の「ステップ」の期間であると考えています。2020年度は、証券・金融業界を取り巻く環境が激変するなか、次の「ジャンプ」でより大きく飛ぶために、さまざまな仕掛けをつくり、チャレンジをしていく非常に重要な一年となります。五カ年計画『DCT2022』の達成に向けて、当社グループ一丸となり、全力を尽くす所存でございます。

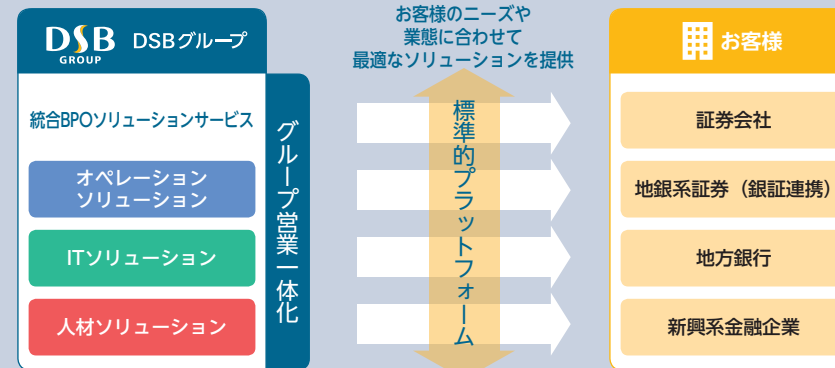
今後とも倍旧のご指導とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

五カ年計画『DCT2022』(2018年度～2022年度) ※DCT = DSB Group Corporate Target

目的 「証券業の共同インフラ会社」構想をより一層具体的かつ計画的に進めていくため

証券業の共同インフラ会社構想とは

証券会社から銀行・新興系金融企業までの幅広い金融分野のお客様に対し、それぞれの業態ごとに標準的なプラットフォームを提供する構想



重要経営課題

クオリティファーストの徹底

デジタル化の推進

統合BPOソリューションサービス提供体制の整備

統合BPOソリューションサービスの拡充・展開

※統合BPOソリューションサービスとは
DSBグループとして営業を一体化し、お客様の様々なニーズに合わせて、オペレーション、IT、人材の各ソリューションをワンストップで提供するサービスです。

TOPIC 1

大阪本部オフィスの移転
～BCP(事業継続計画)強化～

当社の大阪本部オフィスは、大阪市中央区北浜の小寺プラザビルから、北区中之島のビル「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」へ移転しました。

新しい大阪本部オフィスの入るビルは、超高層ビルでは国内最高水準の耐震性があり、震度7の地震発生時においても、電気の安定供給など主要機能が維持されており、設備面でのBCPが一層強化されました。



大阪本部 新住所 (2019年10月に移転)
〒530-0005
大阪府大阪市北区中之島三丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト 25F

TOPIC 2

当社グループにおける
新型コロナウイルス感染症への対応について

当社グループは、国内における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、以下の施策を実施しております。(2020年5月22日現在)

- ・新型コロナ感染症対策の情報共有および予防措置の呼びかけ
- ・衛生用品の追加設置などの社内感染予防策の実施
- ・一定規模以上の会議・打合せ・セミナー等の中止、リモート会議の推進
- ・時差出勤・在宅勤務の推奨
- ・出張の禁止
- ・プライベートを含む、不要不急な外出の自粛
- ・毎日の従業員の健康状態把握と体調不良の従業員への対応
- ・感染者発生時の対応フローの策定

今後とも当社グループは、従業員、関係者やそのご家族の安全を第一に考え、万全の対策を行ってまいります。